

関市水道事業経営戦略 第3章

経営の基本方針

(1) 経営の方向性

関市は独自に地下水源を持ち、自己保有水源率は100%であるため、安定的に安全安心な水道水を供給することができる。給水人口5万人以上10万人未満の類似団体のうち平成29年4月1日現在で家事用20m³当たりの料金は全国で5番目に低額である。

今後も安定・安全・安心・安価に水道水を供給するためには、財政状況を良好な状態に保つことは必要不可欠であり、収益的収支と資本的収支、負債と資産のバランスを取りながら健全な経営を図る必要がある。

しかし、将来、料金収入は確実に減少するため、現在の料金水準で事業を継続することは困難である。このまま水道事業を継続するためには、料金改定が必要になる見通しであるが、維持管理等の給水費用を節減することに努め、大幅な水道料金の引き上げは回避したい。

(2) 経営戦略の性質

水道事業経営を長期的、俯瞰的に考察するためにこの経営戦略を策定する。収支計画については後述するが、今後の経営に関しては不確定要素が多く含まれているため随時見直しが必要である。

(3) 今後の経営における目標設定

第2章(5)業務指標の項目で述べたとおり、関市の今後の経営における最重要事項は経常収支比率の維持と、有収率の向上とする。